

議長賞

明るい社会のためつながりを大切に

社会を明るくする運動と聞いて、まず僕は人と人との関わりが大切だと思いました。特に世代をこえた人との関わりや、地域の人達との関わりです。

一つ目は、地域で子供達と関わってくれている近所のおばちゃんがあります。そのおばちゃんは、近所の公園を毎日そうじしてくれています。花を季節ごとに植えてくれたりもしています。僕もそのおばちゃんに声をかけられ、学校に行く前に友達とゴミ拾いを手伝ったり、花を植えるのを手伝ったことがあります。多くのゴミは、おかしなゴミやペットボトルなど子供達が放課後遊んだ後に捨てていったゴミです。ただ毎日のようにおばちゃんがゴミを拾ってくれているのに、次の日にはまたゴミがたくさん落ちていきます。それを見て僕は残念な気持ちになりました。それから自分自身はゴミを絶対に持ち帰るし、友達にもその辺に捨てずにちゃんとゴミ箱に捨てるように声をかけようと思いました。そしていつか近所のおばちゃんやさんがゴミ拾いをしなくても良い日がくることを願っています。そのおばちゃんは、それ以外にも働いている

堺市立 福泉小学校 六年

大 平 莉 樹 斗

お母さんの代わりに近所の子供を保育園に送っていつてあげたりしているのも僕は知っています。そんな風に、家族でもないのに周りの困っている人のために、手伝ってあげれるおばちゃんはずごいなあと思うし、その助けてもらっている近所の人もものすごくありがたいだろうなあと 생각합니다。そんな風に家族でもない誰かのために、お手伝いやそうじなどをできる人が、たくさん増えれば明るい社会になっていくと僕は思います。

二つ目は、地域のつながりです。そのひとつとして僕の大好きなだんじり祭があります。だんじりを通して小さい子から中学生や高校生、青年団のお兄ちゃんお姉ちゃんとも仲良くなれるし、後でこや屋根にのってるおっちゃん達もいつも優しく声をかけてくれます。それは祭りの二日間だけでなく、普段の日でも会ったら声をかけてくれたり、あいさつをしてくれたりします。このように地域に知っている人がたくさんいることは、安全や安心につながると 생각합니다。なので、だんじり祭りは、この地域の文化や伝統として残していくと共に、地域の人達のつながりの場として

も残していくことが明るい社会、明るい未来のために必要だと思います。

三つ目は、学校で最高学年の六年生になり、一年生のそうじの手伝いや、朝の用意の手伝いに行ったりすることが増えました。三か月で、顔や名前を覚えてくれる一年生が増えました。一年生にとったら、知っているお兄ちゃんお姉ちゃんが増えることは、普段の登下校や放課後遊んでいる時に見守ってくれる存在が増えるので、安心安全な社会につながると思います。

こんな風に、学年や年齢をこえたつながりが増えることや、地域の人々のつながりが増えることが日々の生活で安心安全につながり平和な社会、明るい社会に向かっていくことになると思います。そして僕もそのためにできることを、これからも続けていこうと思います。僕の目標は近所のおばちゃんみたいになることです。

